

サピアタワー

建物諸元(2015年11月現在)

所在	東京都千代田区丸の内1丁目7番12号
主用途	オフィス、コンファレンス、ホテル
敷地面積	5,404 m ²
延床面積	79,981 m ²
階数	地上35階 地下4階 塔屋1階
竣工年月	2007年3月
事業者・所有者	東日本旅客鉄道株式会社
設計会社	東日本旅客鉄道株式会社東京工事事務所、ジェイアール東日本建築設計事務所
施工会社	株式会社大林組、大成建設株式会社
運営会社	株式会社ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル株式会社
設備管理会社	JR 東日本ビルテック株式会社
URL	http://www.jebl.co.jp/building/sapiatower/
テナント数	37社(特定テナント1社)

主な評価項目

I 一般管理事項

CO2削減推進のため運営者・入居者との協力体制を強化

II 建物、設備性能に関する事項

CO2濃度による外気量制御の導入、高効率照明器具の導入、高効率熱源機器の導入

III 運用に関する事項

BEMS(エネルギー管理システム)を活用し、きめ細かなエネルギー分析を実施し、効率的な設備の運用を実施

事業所の概要

サピアタワーは知性を表す「sapience(サピエンス)」がその名の由来。JR 東京駅、東西線大手町駅に直結するアクセスの良さを活かし、人々が集い行き交う場所として、R&E「Research(リサーチ)&Education(エデュケーション)」をコンセプトに様々な情報を集約・発信しております。

事業所における環境負荷低減の取組

環境や省エネルギーを強く意識した建築計画で、「CASBEE-新築 2008年版」において最高評価である「Sランク」認証を取得し、環境に配慮した建物の性能について評価されました。また、更なる環境負荷低減のため、事業者・運営者・入居者・設備管理会社が協働してハード面での設備投資やソフト面での運用改善を実施することで、大幅にCO2を削減しております。

<具体的な取り組み内容> ※一部抜粋

- ・蒸気・温水管断熱強化
- ・外調機外気取引量 CO2 制御の導入
- ・冷水・温水 2 次ポンプ推定末端差圧制御の導入
- ・空調や全熱交換機の運転時間見直しおよび一部機器の中間期(夏期・冬期以外の期間)停止
- ・照明制御方法の見直し
- ・各所照明を LED 化
- ・省エネ用 V ベルトの導入
- ・各設備へ保温設備導入
- ・制御機器のシステム改修
- ・エネルギー管理の担当者を常駐し状態監視
- ・CO2 削減推進の方針策定・情報共有の場として各会議体(事業者・運営者部会、入居者部会)を組織

事業所外観写真

